

水質分析調査業務

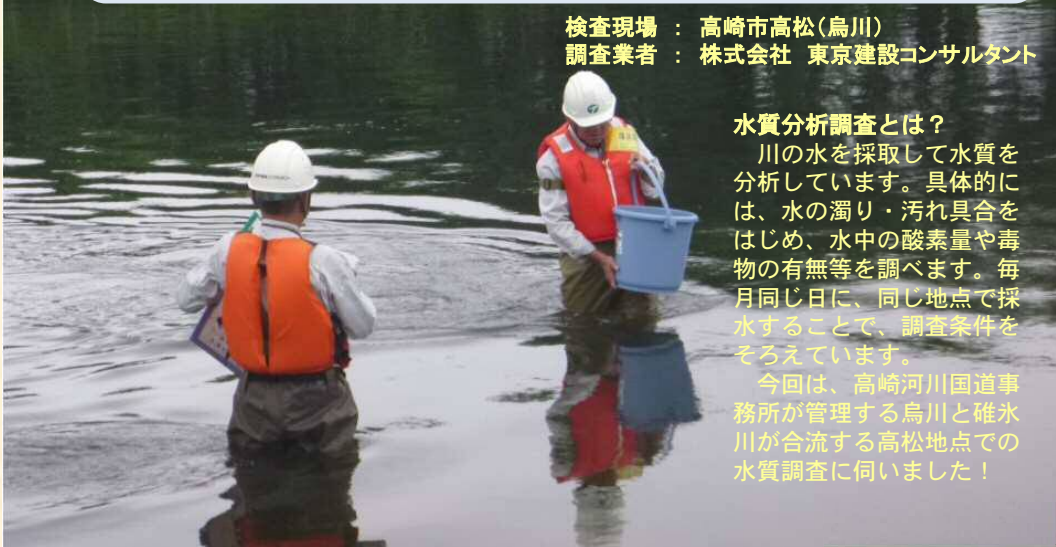
平成29年9月6日

検査現場：高崎市高松(烏川)
調査業者：株式会社 東京建設コンサルタント

水質分析調査とは？

川の水を採取して水質を分析しています。具体的には、水の濁り・汚れ具合をはじめ、水中の酸素量や毒物の有無等を調べます。毎月同じ日に、同じ地点で採水することで、調査条件をそろえています。

今回は、高崎河川国道事務所が管理する烏川と碓氷川が合流する高松地点での水質調査に伺いました！



採水の手順

漏斗やバケツは他の川でも使用しているため、他の川の成分が付着しないよう、川の水で何度も洗ってから使用します。

調査状況の記録

気温、水温、水深を計測します。



採水

必ず上流から採水することになっています。



分取

採水した水を、保存容器(大小計6本)に移し替え。必ずトレイ上で作業し、こぼれた薬品等は持ち帰ります。



大宮の研究所へ

採水した水は、変質を抑えるため、氷で満たしたクーラーBOXに入れて大宮の研究所に運び、分析します。分析は長くて10日程度かかります。



自分の後ろで採水すると、体についたもの等が混ざってしまうため、気を付けています

各種チェック

透視度



筒状の容器に採水した水を入れ、筒の底が見える位置まで水を抜いていきます。底が見えた位置の水かさを記録します。

におい



水の匂いを確認。今回は無臭！

外観



白いトレイを背景に、真水が入った容器と並べて色を比較。

採水した時の状態を保つために薬品を投与する検体もあります。

現場を支える技術者さんたちの声

29年度の水質分析調査を担当して下さっている「株式会社東京建設コンサルタント」の、富家さんと横山さんにお話を伺いました

お仕事紹介



Q お仕事で注意していることは？

A 調査の精度を保つことです。マニュアルに沿って、毎回同じ条件で正しく調査を行うことが大切で、その結果が蓄積され、のちに読み取られていくことを意識しながら仕事をしています。

Q 苦勞したエピソードは？

A 調査中に危険生物に遭遇することがあり、イノシシが出たり、サル群れに追い回されたことも。足元の藪に隠れた蜂の巣にも気を付けています。また、ダム付近でクマの出没情報が出たときには、クマ除けの鈴や撃退スプレーを持って現場に向かいました。

Q どんな会社ですか？

A 主に河川を主体として公共事業のコンサルティングを行っています。今回のような水質調査のほか、川の将来的な計画の立案・推進や、河川関連施設の設計などを行っています。時には小学生と一緒に川で水生生物調査をすることもあります。

Q 必要な資格はありますか？

A 水質分析をするには「環境計量士」という国家資格が必要です。また、ダムの水質調査では舟に乗るため、担当部署の社員の9割が船舶免許を取得しています。

地域環境事業本部
環境モニタリング研究所

所長
富家(ふけ)さん



地域環境事業本部
環境モニタリング研究所

プロジェクトマネージャー
横山さん



勤続年数	27年目	29年目
この仕事を始めたきっかけ	人の役に立つ仕事をしたかった。もともと環境に興味があり、学生時代に海の研究をする中で、海が汚れる原因が川にあることを知り、川にかかわる仕事を選びました。	幼い頃からよく川遊びをしていたことから、身近な存在である川に興味がありました。学生時代の専門だった土木系の中でも川を扱う仕事がしたいと考え、この道を選びました。
仕事上の必需品・愛用品	安全管理グッズ。 不慮の事故・けがと隣り合わせの作業のため、応急処置道具を毎回必ず携行しています。	私物のデジカメ。 仕事で行く先々の様々な水辺の景色をカメラにおさめています。
休日のリフレッシュ方法	飼っている愛犬と遊ぶこと。	ランニング、ロードバイク、妻とのショッピング。
仕事柄、ついやってしまうこと	待ち合わせをするときに「〇〇川のあの辺り」と川を基準に場所を指定してしまうこと。 頭に浮かぶのは、道ではなく「川の地図」。	趣味のランニングをするときに、つい川沿いのコースを選んでしまうこと。
群馬のおすすめの水辺	群馬県北部の利根川上流ダム群	下久保ダム～神流川渓流の三波石峡

取材を続けて



毎月の調査を同じ条件で、かつ精密にするよう努めていらっしゃる様子を見て、この作業の積み重ねのおかげで、管内の河川が無事に管理されているのだと感謝しました。
またインタビューでは、富家さん、横山さんの川に対する情熱、仕事に対する想いを強く感じました。
ご協力ありがとうございました！ (林・瀧澤)

